

げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

5月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤尚子

向き合う

木々の緑に、風が爽やかに感じられるようになり、入園、進級から約1ヶ月が経ちました。

入園した子どもたちも少しずつ、毎日さくらだこども園に通うのだなと思い、園で生活する時間の中で楽しい気持ちを感じられるようになってきています。

今年度も「子どもを中心に、子どもも保護者も教職員もみんなが笑顔のこども園」となるように園経営をしていきます。子どもたちが、自分が楽しい！面白い！と思うことを見付け、困ったときにはどうすればいいのかを知って、行動できるように育てていきます。

大人は「まだ幼い子どもだから」と思いますが、幼児は幼児なりにいろいろと自分で考えています。生活体験が少ないので、大人とは違う見方、考え方、価値観で行動していることもよくあります。入園した新しい生活への緊張感から泣く、新しい環境を知りたくて走り回る…ということもあります。その、子どもの思いを尊重し、幼児なりに自分で一つ一つに向き合っていくことを受け入れ認めると、自分で感じ、自分で考え、自分で行動することが普通だと思える子どもに育てていきます。「子どもを中心に」とは、子ども自身の感覚、思いを大事にしたいとの思いです。

5歳児は2～3人のグループでこいのぼりを作りました。何色の鯉にするのか、模様の色や形はどうするのかをグループの友達と考えて作りあげました。まだ「相談」の仕方が分からず、自分の思いだけを言い張る幼児、すぐに「いいよ」と友達の言葉に賛成する幼児、「何でもいいよ」と思いを出せずにいる幼児…などの姿が見られます。まだ今年度は始まったところなので、これからじっくりと自分の思いに向き合えるように、成長に合わせて指導を重ねていきます。

子どもの側にいる大人として、伝えるべきことは伝えながらも子どもの思いを受け止めていきたいと思えます。保護者の皆様も、どうぞ子どもの思いに向き合ってみてください。

今月の指導のめあて

- < 3歳児 >
 - ・園生活の仕方を知り、安心して過ごす。
 - ・保育者に親しみをもち、一緒に遊んだり体を動かしたりすることを楽しむ。
 - ・身近な生き物や植物に興味をもち、見たり触れたりする。
- < 4歳児 >
 - ・安心する場や興味をもった遊びに、自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
 - ・保育者や友達と一緒に遊んだり、学級みんなで過ごしたりする楽しさを感じる。
- < 5歳児 >
 - ・友達と関わる中で、自分の思いを表したり、相手のしていることや考えに気付いたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・友達と一緒に遊ぶ中で、いろいろな動きを楽しむ。
 - ・身近な動植物に親しみをもち、触れたり取り入れて遊んだりすることを楽しむ。

【産育休代替栄養士について】よろしくお願い致します。

5月21日より里見さやか栄養士が産休に入り、代替として高本佳緒莉栄養士が勤務します。

【健康診断について】

4月から6月にかけて、内科、耳鼻科、歯科、眼科の健康診断を行います。全科受診しませんと、プールには入れませんので体調を整え、受けられるようにしましょう。

欠席等の理由により、受診できなかった方は、後日受診していただきます。なお受診後、治療のお知らせを受け取った方は、早めに治療し、治癒証明を園にお出してください。

【衣替えについて】

6月から衣替えになりますが、夏服はありませんので、衣替え以降は、園服なし、園帽着用になります。ただ、5月中旬ごろから、暑い日もありますので、暑い日は、園服を着用しなくても構いません。